

番号：	SOM-EMS-15-00
作成日：	2022年8月1日

## ソフトウェア取扱説明書

EMS シリーズ

RCT-TEST 設定ファイル作成編

ソフトウェア取扱説明書	書類番号 SOM-EMS-15-00	ページ 2 / 12
-------------	-----------------------	---------------

### ■履歴

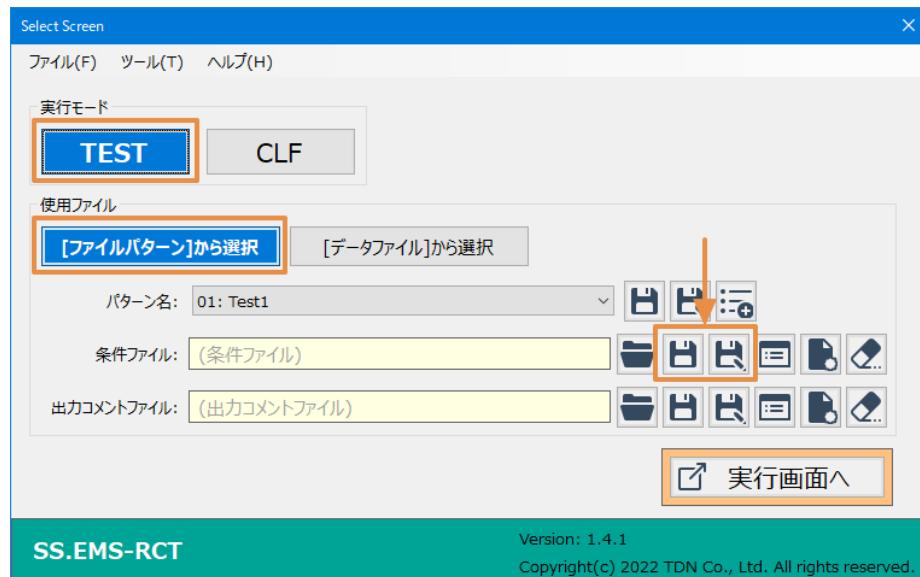
改訂	作成日	内 容
---	2022/8/1	新規作成
1		
2		
3		
4		
5		

### ■目次

1. TEST 条件ファイルを作成する .....	3
2. 基本設定 .....	3
2.1 CLF データファイルを選択する .....	3
2.2 試験規格の選択 .....	4
2.3 変調設定 .....	4
2.4 音声読み上げ .....	4
2.5 Up/Down レベルステップ設定 .....	4
3. 電界測定設定 .....	5
4. レンジ設定 .....	5
4.1 試験レベルを設定する .....	5
4.2 試験周波数を設定する .....	6
4.3 変調設定 .....	7
4.4 初期 SG レベル設定 .....	7
4.5 位置設定(IEC/ISO) .....	8
4.6 位置設定(RTCA) .....	8
5. その他設定 .....	9
5.1 レベリング設定 .....	9
5.2 照射時間設定 .....	10
5.3 SG レベル設定 .....	10
5.4 スケール設定 .....	11

## 1. TEST 条件ファイルを作成する

### TEST 条件編集画面を開く



既存ファイルを編集する場合はファイルを選択しておいてください。

## 2. 基本設定



### 2.1 CLF データファイルを選択する



【基本設定】にて【CLF データファイル】を選択します。

レンジ設定やスケール設定が CLF 測定条件と同じ設定になります。

## 2.2 試験規格の選択

## 試験規格

IEC  ISO  RTCA

対象の試験規格を選択します。

IEC/ISO : T/S はステップ移動します。

RTCA : T/S は連続回転します。

## 2.3 変調設定

## 変調設定

SGレベルを下げるから変調ONする

Pulse幅にτ(s)を追加する

■ SG レベルを下げるから変調 ON する

CW でレベリングを行い、変調 ON する前に SG レベルを下げます。

変調スイッチによる EUT 誤動作を防ぎます。

■ Pulse 幅にτ(s)を追加する

試験規格で RTCA を選択した場合、Pulse 変調試験時にチャンバー時定数τ(s)を追加します。

## 2.4 音声読み上げ

## 音声読み上げ

周波数読み上げを行う

変調の読み上げを行う

Microsoft Speech Platform による音声読み上げを行います。

別途 Microsoft Speech Platform - Runtime Languages のインストールが必要です。

## 2.5 Up/Down レベルステップ設定

## Up/Downレベルステップ設定

No.1  1 V/m

No.2  5 V/m

No.3  10 V/m

試験画面に各レベルで Up/Down できるボタンを表示します。

## ターゲット

30

V/m

レベル変更

1  
V/m



1  
V/m



5  
V/m



5  
V/m



10  
V/m



### 3. 電界測定設定

条件設定

基本設定	電界測定設定	レンジ設定	その他設定	EUT監視設定
<input checked="" type="checkbox"/> 電界強度をモニタする				
電界モニタ: RSS2010B(Int Fac) [DARE] CH1 1:1 CTR1000B Slot1 [DARE] RSS2010B(Int Fac) [DARE] CH1 OFF Position1 1:2 CTR1000B Slot2 [DARE] RSS2010B(Int Fac) [DARE] CH2 OFF Position2 1:3 CTR1000B Slot3 [DARE] RSS2010B(Int Fac) [DARE] CH3 OFF Position3 1:4 CTR1000B Slot4 [DARE] RSS2010B(Int Fac) [DARE] CH4 OFF Position4				

試験中に電界値をモニタする場合に設定します。

### 4. レンジ設定

基本設定	電界測定設定	レンジ設定	その他設定	EUT監視設定
レベルタイプ: 固定値 レンジ数: 4				
開始: 終了: レベル 周波数ステップ編集: 変調 SGレベル 位置 [MHz] [MHz] [V/m] ステップ: パターン: 設定 Txアンテナ: アンプ: [dBm] 設定: 1 100 300 30 1 % 設定 100-1000MHz 80-1000MHz -30 表示 2 300 400 30 1 % 設定 100-1000MHz 80-1000MHz -30 表示 3 400 600 30 1 % 設定 100-1000MHz 80-1000MHz -30 表示 4 600 1000 30 1 % 設定 100-1000MHz 80-1000MHz -30 表示				

#### 4.1 試験レベルを設定する

基本設定	電界測定設定
レベルタイプ: 固定値 レンジ数: 固定値 開始: 変動値 レベル [MHz] [MHz] [V/m]	

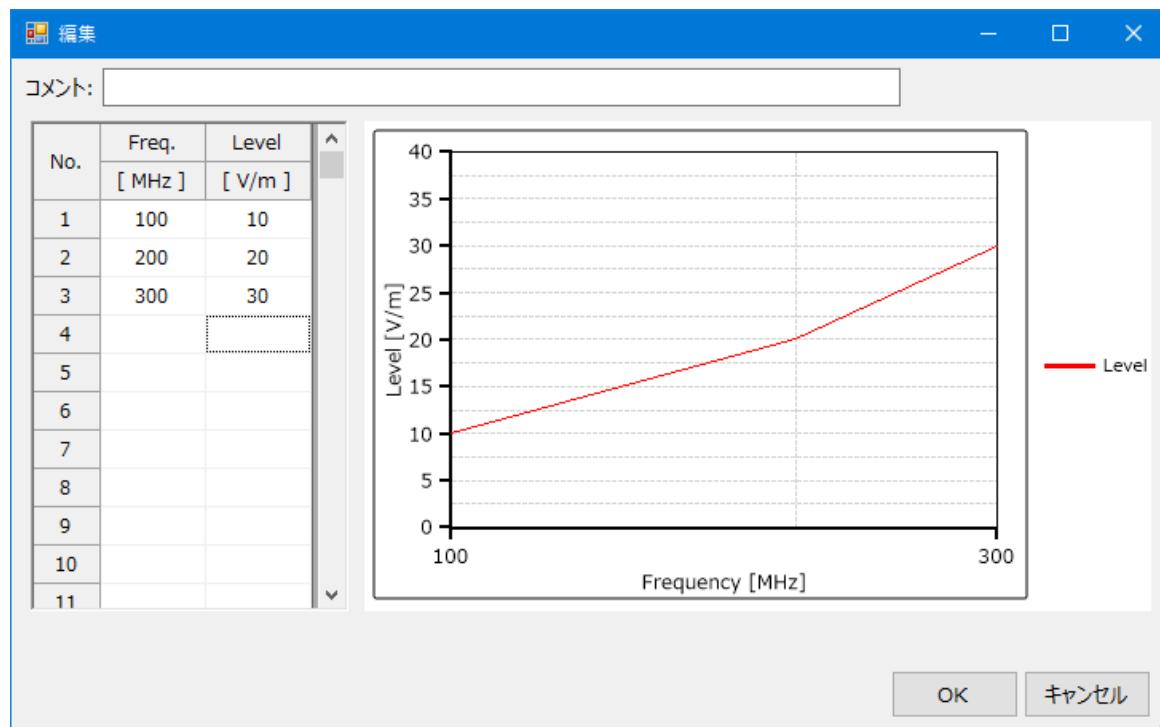
固定値または変動値を選択します。

開始:	終了:	レベル	周波数ステップ編集
[MHz]	[MHz]	[V/m]	ステップ: パターン:
1 100	300	30	1 %
2 300	400	30	1 %

固定値の場合は直接レベルを入力します。

開始:	終了:	レベル1:	周波数ステップ:		
[MHz]	[MHz]	[V/m]	ステップ: パ		
1	100	300	<input type="button" value="編集"/>	1	%
2	300	400	<input type="button" value="編集"/>	1	%

変動値の場合は【編集】ボタンから試験レベルを設定します。



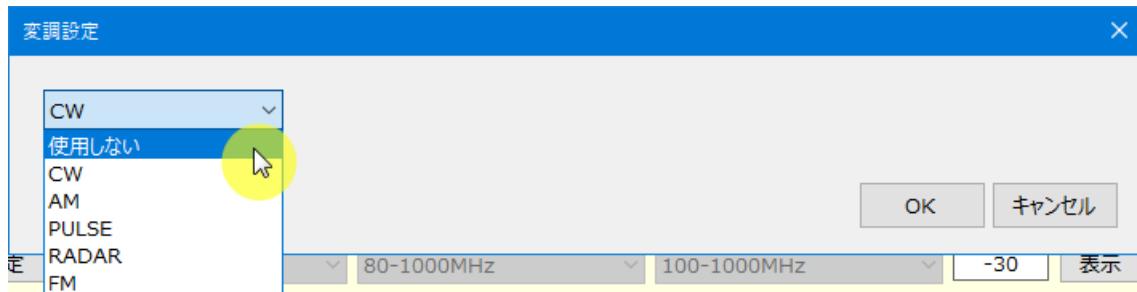
周波数とレベルを設定します。

#### 4.2 試験周波数の確認

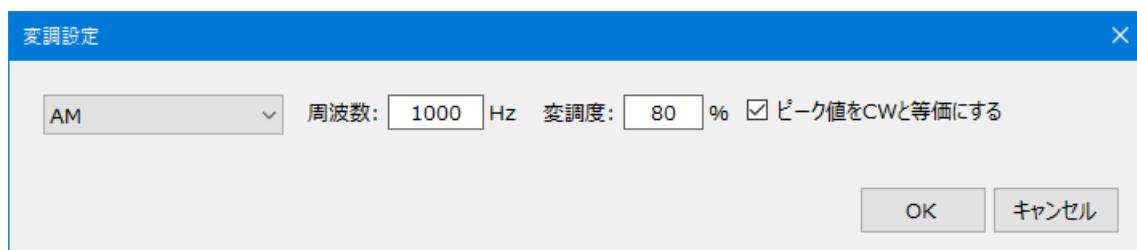
開始: [MHz]	終了: [MHz]	レベル [V/m]	周波数ステップ 編集:
100	300	30	<input type="button" value="編集"/> ステップ: パターン: 1 %

※周波数の変更は CLF 条件のみで行えます。TEST 条件では変更できませんのでご注意ください。

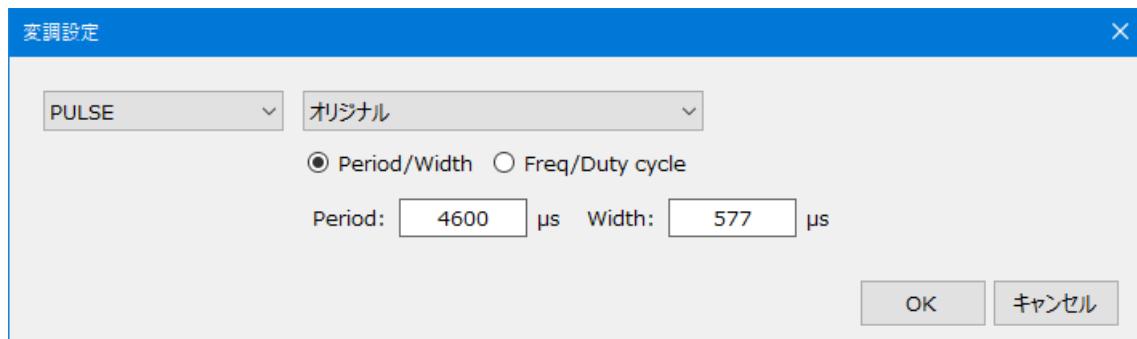
#### 4.3 変調設定



各レンジに 1 変調の設定が可能です。



AM 変調設定



PULSE 変調設定

#### 4.4 初期 SG レベル設定

SGレベル:

[dBm]

試験開始時の SG レベルを設定します。

#### 4.5 位置設定(IEC/ISO)

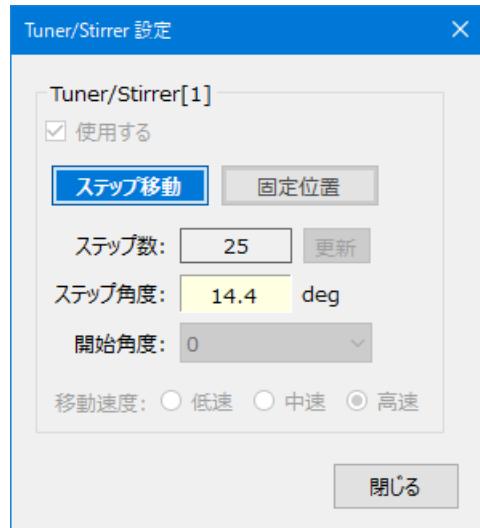
試験規格で ISO または ISO を選択した場合は、位置の変更はできません。

【表示】ボタンにて設定内容の確認ができます。

位置

設定:

表示



#### 4.6 位置設定(RTCA)

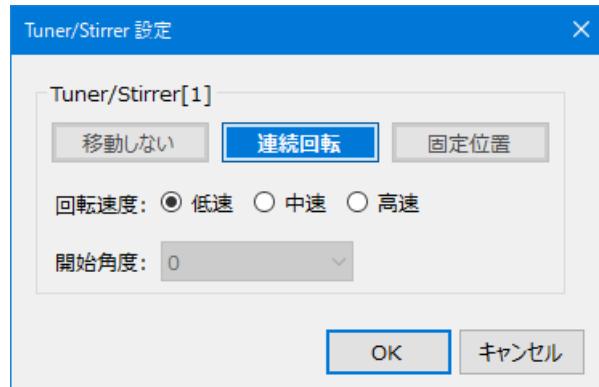
試験規格で RTCA を選択した場合は、回転スピードの設定を行います。

【編集】ボタンにて編集ができます。

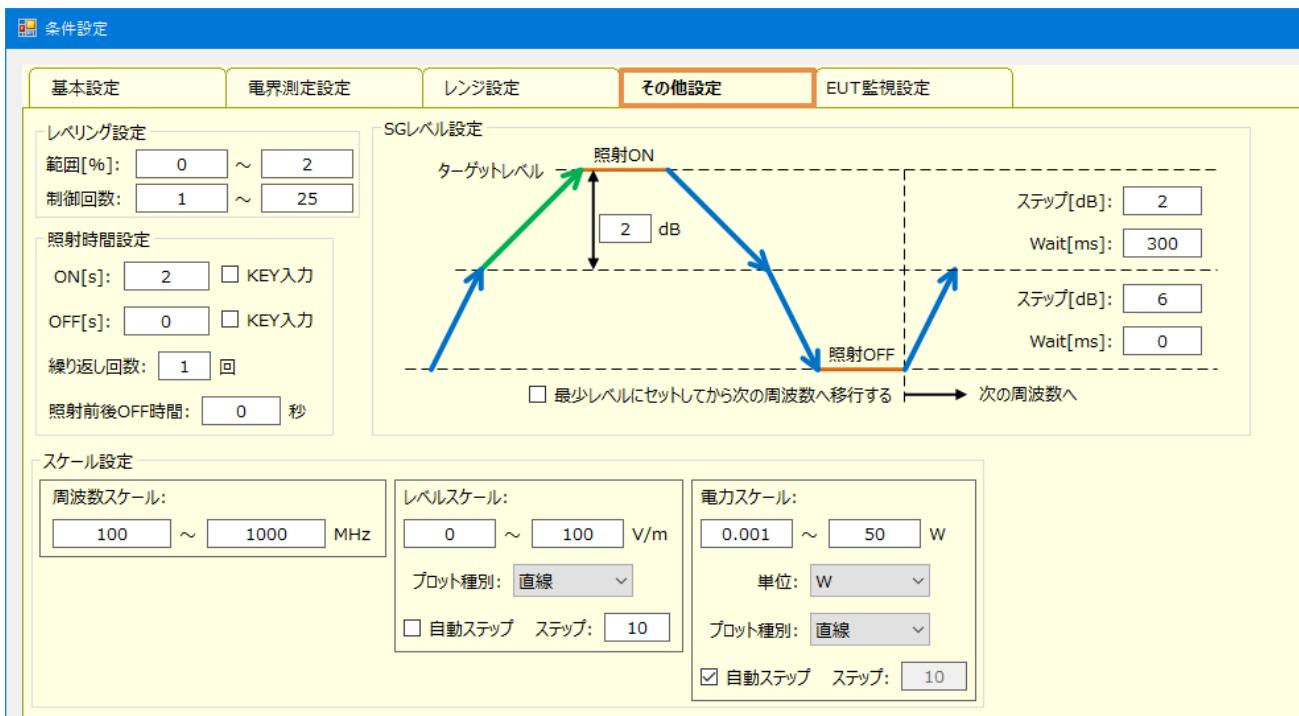
位置

設定:

編集



## 5. その他設定



### 5.1 レベリング設定

レベリング設定	
範囲[%]:	0 ~ 2
制御回数:	1 ~ 25

項目	備考
範囲	ターゲットレベルに合わせ込む範囲を指定します。 範囲の中間値を目標として合わせ込みを行います
制御回数	合わせ込みの回数制限を設定します。最大回数以上になるとエラーで停止します。

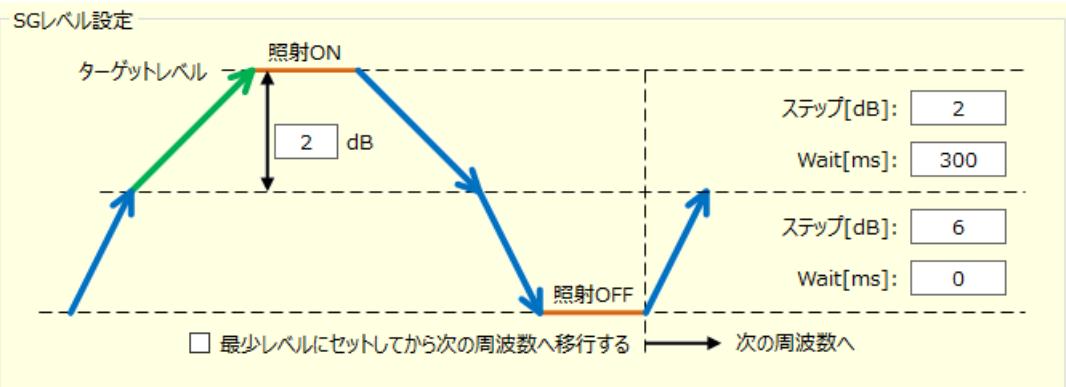
## 5.2 照射時間設定

照射時間設定

ON[s]:	2	<input type="checkbox"/> KEY入力
OFF[s]:	0	<input type="checkbox"/> KEY入力
繰り返し回数:	1	回
照射前後OFF時間:	0	秒

項目	備考
ON・OFF	照射 ON・OFF 時間を設定します 規格設定で RTCA を選択した場合は T/S が連続回転となりますので、ON 時間を T/S が 1 周する時間に設定します。
KEY 入力	照射 ON・OFF を時間で設定せずユーザーのタイミング（KEY 入力まで）にします
繰り返し回数	ON・OFF を繰り返す回数を設定します
照射前後 OFF 時間	照射 ON の前後において SG OFF (-100dBm 以下) にする時間を設定します。 (カーメーカープライベート規格に対応)

## 5.3 SG レベル設定



項目	備考
ターゲットレベルとの差分	下段制御と上段制御の分け目を設定します
ステップ	最大上昇レベルを設定します
Wait	各ステップの待ち時間を設定します。 測定精度を上げるために上段では待ち時間を長く設定します。
最小レベルにセットしてから…	周波数移行前に SG レベルを -100dBm 以下にセットします

## 5.4 スケール設定

スケール設定

周波数スケール: 100 ~ 1000 MHz	レベルスケール: 0 ~ 100 V/m プロット種別: 直線 <input type="checkbox"/> 自動ステップ ステップ: 10	電力スケール: 0.001 ~ 50 W 単位: W プロット種別: 直線 <input checked="" type="checkbox"/> 自動ステップ ステップ: 10
----------------------------	---	---

グラフスケールを設定します。

ソフトウェア取扱説明書	書類番号 SOM-EMS-15-00	ページ 12 / 12
-------------	-----------------------	----------------

### ■ ご注意

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。

本書の内容およびソフトウェアの仕様について、将来予告なしに変更することがあります。

### ■ 商標について

Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

National Instruments, NI, NI-VISA は、National Instruments Corporation の登録商標または商標です。  
その他、各会社名・各製品名は各社の登録商標または商標です。

### ■ お問い合わせ先

・株式会社 TDN

TEL: 050-3634-5277      E-mail: [info@td-n.co.jp](mailto:info@td-n.co.jp)